

花きの県別生産出荷概況(3月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		3月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
さくら	山形	促成	啓翁桜	12~4月 (12/下~3/上)	228 (102%)	346 (110%)	250 (113%)	40	40	20	県内全域
アルストロメリア	山形	周年	アバランジェ レベッカ ピンクサプライズ レモン オルガ 他	周年 (4~5月)	9.3 (101%)	615 (100%)	260 (102%)	30	30	40	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら
	長野	周年	ハニーソフィア ピンクティアラ レベッカ オルガ	周年 (4~5/上)	() ()	1650 (100%)	700 (100%)	30	40	30	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間
トルコギキョウ	沖縄	施設	レイナホワイト ボレロホワイト エンゲージブルービィコティ グラナスライトP	12月~5月 (4月)	1.5 200%	363 200%	250 200%	20	40	40	糸満市 八重瀬町 沖縄市 東村
	福岡		大輪 小輪	3~5月 ()	() ()	1000 100%	400 107%	20	40	40	田川 みい 直鞍 糸島
	静岡	施設	ボレロ系 レイナ系 ボヤージュ系 海ほのか	10-6月 4-5月		400 88%	360 90%	35	35	30	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央
	熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年 11~5月	21.4 102%	357542 108%	211286 113%	22%	34%	44%	熊本市 菊池 やつしろ くま など

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
さくら	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の花芽着生は良好である。 ・積雪が例年より遅く、積雪量も少ないため、現在も収穫作業が行われている。 ・「ウソ」の飛来は、前年に比べ遅い。 ・以上の状況により、3月の出荷量は、前年より多い見込みである。 	<p>現状</p> <p>見通し</p>
			大田花き FAJ 東日本板橋花き 世田谷花き 第一花き
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格が落ち着き、設定温度8～15℃で加温管理が行われていることから、生育は概ね順調に推移している。 ・3月の出荷量は、ほぼ前年並みが見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<p>現状</p> <p>見通し</p>
	長野	暖冬により前進傾向の出荷ペースだったが、2月以降は例年並みとなっている。3月彼岸に向けては順調な生育となっており、花芽をしっかりと持っていることから昨年並みの出荷を見込んでいる。	大田花き 愛知、長野中心となるが、各産地3月下旬に向けて増加傾向となり、まとまった数量となる見込み。各色潤沢な入荷となる。 840,000本 @75 FAJ 彼岸に向けて出荷数量増量する見込み。
			東日本板橋花き 愛知・青森・福島・北海道中心の入荷。彼岸需要と業務需要の動き 世田谷花き 天候次第で上旬から増量の見込み。下位中心の動きで、上位が苦しいか。 第一花き 彼岸・業務需要中心の販売概ね例年並み@95
トルコギキョウ	沖縄	当初の計画より2週間程度前進開花の傾向だが、生育、花ボリュームとも良好で秀品が中心の出荷が見込まれる。	<p>現状</p> <p>見通し</p>
	福岡	1月までは暖冬の影響で生育がやや急いでいたが、2月は冷え込みや曇天の影響でプラスチングが発生したため、結果的に平年並みの生育進捗となっている。現在、出荷が始まっている産地も一部あるが、本格出荷は中旬からとなる見込み。	大田花き 彼岸期、送別需要と引き合いは出てくる見込み。出荷量も安定してくるので相場展開も落ち着いた動向となる見込み。 FAJ プライダルや業務・イベント多数で引き合い堅調。安定した販売が続く。
	静岡	天候や病気などの影響で現状は多くない。産地によってバラつきはあるものの今後もダラダラとした出荷となり、増えるのは3月下旬を見込む。	東日本板橋花き 国内産が増え、台湾産は少ない。 世田谷花き 台湾産の切り上がりも早く、全体としては入荷少なめ。
	熊本	3月中旬(10日頃)から出荷数量が増加してくると思われる。一部で生育の遅れが見られる箇所もあるが、全体として春期出荷分は順調に推移している。また、品質については換気と温度管理により花シミ対策を行う。	第一花き 入荷数・品種も増加し品質も向上、彼岸需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。@150

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	千葉	①生育は前進傾向。3月の出荷量の総計は前年並になるが、今後の天候によっては出荷ピークが早まる可能性がある。 ②施設栽培は西岬がアイアン系、その他はカルテット系が中心。露地栽培は彼岸王とファミリーシリーズ。	<p>現状 千葉産中心の出荷だが現状それ程大きな増減なく、安定した相場で推移。露地ストックは各産地前進傾向で中下旬より増加傾向。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き ST、SPは大きな増減なく4月まで出荷ある見込み。露地ストックについては2週目より納品本格化するが上旬に数量増加する見込み。</p>
		①生育は10日程度前進している。分枝数やボリュームは良好だが、丈はやや短めである。3月全体での出荷量は前年並みの見込み。 ②カルテットシリーズが中心。	<p>FAJ 千葉県産を中心とした入荷。彼岸に向けて需要増加する見込み。</p> <p>東日本板橋花き</p> <p>世田谷花き 例年よりも開花ピーク早く彼岸には品薄気味になりそう。</p> <p>第一花き 彼岸需要中心の流れで品質格差の単価差は出るが概ね例年並みの流れ。@65</p>
バラ	群馬	天候も安定しているため、芽吹きも良く、出荷量は前年比で微増を見込む。病虫害等の発生は特に見られず、順調に生育している。	<p>現状 静岡県、愛知県中心の入荷であるが、昨年より天候に左右される部分が多く、約7%～10%減の入荷量。需要もフラワーバレンタインで引き合いは一時的に強くなったが、他は非常に厳しい販売であった。</p> <p>見通し</p>
	山梨	生育は順調で推移している。出荷量は少なかった前年を上回る見込み。	<p>大田花き 多少の前進開花は見られるが、3月3週くらいが入荷のピークになる見込み。輸入品もケニア中心に多めの入荷になる。</p>
	愛知	・重油価格が落ち着いていることもあり気温の上昇とともに出荷量は増加してくる予定で、3月全体の出荷量は昨年並みからやや増加する見込み。 ・生育状況は、大きな問題もなく順調に生育しており、60～70cmが出荷の中心となる。	<p>FAJ 日照量も増え生産量増量する見込み。需要期に入り取り引き活発に。</p> <p>東日本板橋花き 3月は、冬休みしていた産地の出荷も始まり徐々に増えてくる。</p> <p>世田谷花き 入荷量も気温とともに増える見込み。年度末に向けての需要に期待。</p>
	静岡	現状少なめの出荷となっているものの、概ね生育も順調で、中旬～下旬にかけて上位等級中心に昨年並み程度には増加してくる見込み。	<p>第一花き 入荷状況によるが、年度末需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。SD@110 SP@100</p>
小ギク	沖縄	定植時の高温や消灯時の低温の影響も少なく、生育は概ね順調に推移している。配色割合は黄：白：赤＝45：23：32となっている。	<p>現状 入荷不安定な状態が月を通して続き価格は高騰。作付け量は前年2割減であった。</p> <p>見通し</p>
			<p>大田花き 彼岸需要に向け数量増加するも、極端に供給過多になる事無く月を通して安定販売となる。</p> <p>FAJ 3月の需要期に向けて入荷量増加傾向。沖縄より潤沢な入荷を予定。</p> <p>東日本板橋花き 沖縄産主体、彼岸需要で引き合い強い、黄>赤>白の順L@50</p> <p>世田谷花き お彼岸需要の入荷は増える。ただし色バランスが悪く、黄色多め。単価は黄色が苦しいか。</p> <p>第一花き 彼岸需要主体の流れ、入荷バランスによるところが大きい。@40</p>